

---

2020年3月11日号

☆☆☆ 創作者のためのマーケティングエッセンス ☆☆☆

——2020年3月11日号 言葉は（そんなにも）出ない——

produced by <相羽裕司（あいばゆうじ）>

<http://aiba.livedoor.biz/>

---

どうも、相羽です。

本日で東日本大震災から9年です。

大変だったなあ、  
と思います。

特に僕の場合  
母親を介護する生活をしておりますので、  
震災があって、  
介護もしながらの9年間はけっこう大変だったなあと。

一方で、  
たくさんの方々に助けて頂いたなあとも思います。

身近な家族や友人をはじめ、  
直接的ではなくとも遠くの国から寄付して下さった方々とか、  
特に何するでなくとも一日一日大事に生きている方々とか、

メルマガの読者さんももちろん含みます。

2011年当時、  
励ましの言葉をかけて下さった方々、

義援金代わりだと言って、  
当時の状況では洗練されたものとしてはスタートできなかった  
僕のメール講座などに申し込んで下さった方々、  
こっそりとブログの Amazon アソシエイトなどで買い物して支援して下さいました方々、  
その他、直接アピールとかしなくてもそこはかたく支援して下さいました方々、  
けっこう認識しておりますし、深く感謝しております。  
いつか恩をお返しできたならとも思っています。

もうちょっとリアルに会ったりもするような友人・知人の方々でも  
メルマガを読んでくださっている人もいるのですが、  
こちらになりますともっと直接的に支援して下さいましたことがあったり。  
(

ストレートにお金を支援してくれた方とか、  
凄いイラストレーターなのに支援だからとそんなにも十分でない原稿料で  
イラストの依頼を引き受けて下さった方とか、  
とてもたくさんの方々に助けて頂きました。  
忘れていません。  
本当にありがとうございます。

)

素直に感謝の気持ちを感じつつ。  
また丁寧に日々を生きていきたいと思います。

言葉に関しては、  
東日本大震災にまつわることに関しては、  
僕の場合は小説に、

『妹の紋章』

『非幸福者同盟』

『こちら街アカリの復興部！』

『少女輪廻協奏曲 ノギクとヴェドラナの愛』

などを書いておられますので、  
今日、特別に改めて何かを語るというより  
(というか、そんなにも言葉は出てこない感じでもあるのです。)は、  
なんかタイミングがきたなという時にそれらの作品を読んで頂けたらと思います。

表面的な言葉にできないあたりまで、  
感じて頂けるのではないかと思います。

また、  
意外とこの9年での大事な仕事だったなと僕が感じているのは、  
昨年執筆させて頂いた「マンガフル(旧:マンガタリ)」さん経由での  
飯坂温泉さんの記事2本ですね。

●『温泉むすめ』の飯坂真尋ちゃんを尋ねて飯坂温泉を徹底取材！伝統の公衆浴場×最新の  
キャラクター文化で盛り上がる温泉地の過去、現在、未来

<https://mangafull.jp/onsenmusume-iizakaonsen-report>

●飯坂温泉の『温泉むすめ』飯坂真尋ちゃんプロジェクト実行委員長さんに弁財天真尋ちゃん  
誕生秘話から足元に眠っている地域の宝を磨き上げる展望まで聞いてきました！

<https://mangafull.jp/onsenmusume-iizakaonsen-interview>

飯坂温泉のみなさんも震災の時はとても大変だったので、  
同じ東北という縁ある身として、  
(また、最初は特に意識してなかったのですが、  
僕の父親が55年ほど前に1年9ヶ月ほど飯坂温泉で

働いていたという不思議な縁があったりもします)  
多少助力できたのは僕の本懐というところだったのでした。

飯坂温泉さん、  
現在、僕が書いた記事も募集ページに掲載して頂いている、

クラウドファンディング、

●【温泉むすめ】飯坂温泉に賑わいを！「真尋ちゃん音頭」で地域に輪をつくりたい！

<https://camp-fire.jp/projects/view/233723>

で、  
既に 250 万円を超える金額を集めており、  
僕はある程度文章を書く才能があるのだろうと自分では思っているのですが、  
自分の特性である「文章を書くこと」で、  
多少あの時僕と同じく大変だった方々のお手伝いできたのだったら、  
それは、  
この 9 年生きてきて良かったことだな～と思っているのでした。

今日、  
街から見える線路の上を新幹線が通っているのを見て、  
ああ、ある程度復興したんだな、と感じました。

震災当時は、  
何ヶ月も線路の上で東北新幹線が停止していたので。

また、

友人のノウライトさんと  
Twitter 上で『FGO』に関する何気ないやりとりをしました。

<https://twitter.com/knowlight/status/1237536009681661952>

ノウライトさんも福島県出身なので、  
この9年間けっこう大変だった人ですが、  
なんか、お互い9年間まずは生き延びたね、  
と思って、またちょっとだけ復興したんだな、  
というのを感じました。

みなさん、本当にありがとうございます。

また、  
昨日から公開を開始した僕の新作短編小説『橋姫影物語』

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054890970912>

でも、  
僕の震災に関して感じていることなどは感じて頂けるのではないかと思います。

僕が住んでいる地域の伝承を題材にした小説なのですが、  
東北の地域の伝承に（創作の題材にするというかたちで）スポットを当ててみて、  
飯坂温泉の吉川屋七代目さんが（インタビューさせて頂いた時に）  
仰っていたところの  
「足元に眠っている地域の宝を磨き上げる」のも、  
僕なりの復興活動だったりします。

今回はストレートに東日本大震災を題材として絡めている作品ではありませんが、このメルマガをとってくださっているような方が読んだ場合、なるほど、やはりある程度震災のことなどを前提にして書いている作品なんだなどは感じていただけるのではないかと思います。

とはいえ、今回伝えたいのは、「明るさ」とか「ゆっくり、ゆったり、ゆるやか感（余裕のようなもの）」とかですね。

ようやく、そういう心境までこられました。（『妹の紋章』とかは今ふりかえると、まだ比するにだいぶ重い雰囲気がありますよね。）

長期的視点といいますか、復興も人生も、長く続くのだろうという意識が最近があります。

だとしたら、「明るさ」「楽しさ」「ゆっくり、ゆったり、ゆるやか感（余裕のようなもの）」などなどとも一緒に歩いていかないと、もたないですね。

できるだけ陽気さもたたえた道中で、これからも歩いていけたらと思っております。

今後もよろしく願いいたします。

ではでは！

今回もメールを通じてご縁を頂きありがとうございました！

引き続き復興に関係するような活動、  
世の中に余裕を作っていく的な活動、  
などなど、  
今後もコツコツとやっていきたいと思っております。

相羽裕司

- 
- ◇マーケティングを学びながら  
豊かな創作&収入ライフを実現するメルマガ  
「創作者のためのマーケティングエッセンス」
  - ◇発行責任者  
相羽裕司（あいばゆうじ）
  - ◇ご意見・ご感想のメールをお待ちしています。  
e-mail : aibayuji@gmail.com
  - ◇登録・解除はいつでもこちらでできます。  
<http://www.mag2.com/m/0000231635.html>
  - ◇メルマガ発行元  
まぐまぐ (<http://www.mag2.com/>)
  - ◇発行者、相羽裕司の Blog  
▼創作関係：ランゲージダイアリー (<http://aiba.livedoor.biz/>)
  - ◇Twitter  
<http://twitter.com/sabishirokuma>
  - ◇Enty  
<https://enty.jp/aibayuji>
  - ◇pixivFANBOX  
<https://www.pixiv.net/fanbox/creator/559011>
-

●新作短編小説『橋姫影物語』／カクヨム（七夜連続更新中）

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054890970912>